

## 第 23 回 大腸癌プロジェクト研究「大腸癌腹膜播種の Grading」議事録

研究代表者 小林宏寿（帝京大学医学部附属溝口病院外科）  
日時 第 97 回大腸癌研究会・2022 年 7 月 7 日（木） 12 時 30 分～13 時 30 分  
場所 浜松町コンベンションホール 5F メインホール+Web

参加者 川本（久留米），前田，佐藤（藤田），板橋，小川（女子医），長谷，梶原，田代（防衛），小森，木下（愛知がん），室野（東大），小山（奈良），石田，幡野（埼玉医大医療セ），川崎（ベルランド），端山（帝京），岩田（医科歯科），高見沢（国がん），清松（国際医療セ），富田（市立豊中），西村（聖マリ東横），尾地（京大），問山（三重），幸田（帝京ちば），中山（名古屋），別府（兵庫），牛込（東邦大森），森川（福井），志田（東大医科研），須藤（山形県中），諸橋（弘前），固武（佐野市民），小林（帝京溝口）。

順不同・敬称略

### 議題 1 前回会議議事録案の承認

- ・前回議事録が承認された。

### 議題 2 腹膜播種の prospective study（観察研究）の進捗状況

- ・発表・論文化について

#### 予後情報なし

1) ベルランド（登録数 1 位）：PCI と日本の大腸癌腹膜播種分類ならびに原発巣占拠部位との相関

→Kawasaki M et al. J Anus Rectum Colon4(4);157-164, 2020

2) 国がん（登録数 2 位）：R0 切除を行い得る症例はどのような症例か

→Shida D et al. Int J Clin Oncol 25(2); 330-337, 2020

#### 予後情報あり

3) 事務局:PCI と日本の播種分類との予後分別能(新しい分類と Grading の提示) に関し解析結果を発表→大きさを加味した検討を追加

4) 防衛医大（登録数 4 位）：腹膜播種症例の予後規定因子解析と Nomogram による予後予測に関し解析結果を発表

5) 藤田医科（登録数第 5 位）：化学療法と播種症例の予後

新たな腹膜播種分類について事務局より大きさを加味した提案があったが、やや煩雑であり大きさを加味しない方がよいとの意見もあった。大きさを加味した状態で論文化を進め、その進捗状況を feedback しつつ、次回以降も新しい腹膜播種分類について検討を重ね

ることとなった。

腹膜播種の前向き研究については、3)～5)以外に論文化の希望が寄せられてない現状から、登録数が多い施設に順に論文化の希望を尋ねていくこととなった。

### 議題3 腹腔洗浄細胞診の prospective study (観察研究) について

1785例が集積され、各施設の登録数が確認された。また、2022年12月で予後追跡が終了し、2023年1月には予後情報の集積を行う旨の周知があった。

#### 予後情報なし

- 1) 藤田医科 (登録1位) : 腹腔洗浄細胞診陽性に関連する因子の検討  
→JARCに accept

#### 予後情報あり

- 2) ベルランド (登録3位) : 陰性→陽性に転じた症例に相関する因子の検討
- 3) 愛知がんセンター (登録5位) : 施設別細胞診陽性率の差に関する検討
- 4) 事務局 : 細胞診の結果と再発・予後の検討
- 5) 防衛医大 (登録4位) : 腹膜播種再発の予測モデルに関する解析 (Nomogram もしくは Classification And Regression Tree を用いて)

### 議題4 腹膜播種の retrospective study (症例集積研究) の集計解析結果について

- ・積極的な利活用を各委員に依頼した。

(文責：小林宏寿)